



平成19年11月15日

各位

会社名 株式会社ソディックプラステック
代表者名 代表取締役社長 藤川 操
(JASDAQ・コード6401)
問合せ先
役職・氏名 執行役員(経理部長) 吉岡洋二郎
TEL 045-478-1880

平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成19年5月15日付「平成19年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成20年3月期の連結業績予想、(参考)平成20年3月期の個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期の連結業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	13,200	480	400	230
今回修正(B)	12,500	90	20	10
増減額(B-A)	△700	△390	△380	△220
増減率	△5.3%	△81.3%	△95.0%	△95.7%

2. 平成20年3月期の個別業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	13,000	480	400	230
今回修正(B)	12,300	90	30	20
増減額(B-A)	△700	△390	△370	△210
増減率	△5.4%	△81.25%	△92.5%	△91.3%

3. 修正理由

当期の見通しにつきましては、国内景気等におきまして、引き続き企業収益の改善や設備投資が堅調に推移するものと予想されるものの、他方においては、原油・資源価格の高騰、国際的な金融不安と高まりなど予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、連結、個別ともに通期業績予想は、中間期からの海外主要販売地域の一つである韓国向けの販売の低迷、国内自動車業界などの設備投資が依然として慎重である事を受け、売上高の若干の減少が見込まれます。また、利益面においても、R&Dセンター（新工場併設）稼働による内製化と稼働率のアップによる原価の低減効果が下期後半以降になると思われること、設備投資の増加に伴う減価償却費や借入れに係る利息費用等の増加が引き続き予想されることにより、営業利益、経常利益及び、当期純利益につきまして修正を行うものであります。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上